

事務連絡  
平成27年5月13日

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類をへい死させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で4細胞/ml 確認されました。また、二枚貝を着色させる可能性のあるミリオネクター プラが最大で32細胞/ml 確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、ギムノディニウム カテナータムが最大で8細胞/ml 確認されました。

今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日は、海水1mlでプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カテナータム	アレキサンダー リウム属	ミリオネクター プラ
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)	*1	*2	*3	
ヒロウラ(別図①)	0	-	-	-	4	0	0	32
透明度:-m	5	-	-	-	0	8	0	0
採水時間:-	10	-	-	-	0	0	0	0

\*1: 魚類をへい死させる恐れがある種 \*2: 魚類を弱らせる可能性がある種

\*3: 麻痺性貝毒の原因種

